

解説者役場厚生係
松岡行雄

普通恩給増加恩給の件
請求件数六件、裁定六件
一〇〇%である。

笠原長猪君（二十二才元團
長）副團長に小笠原一猪君
（二十一才）を決定しそれ
で就任した
（写真は草刈）

第三目の受付は午前十一時より十一時まで行なわれたが、すでに六十名をオーバーする出足の好調をみせて十一時から地元村議員、教育委員その他有志を迎え開会式が始まつた。

▼調停申立に対する裁
判所の取扱

ることが実情に適しているかも知れないが、青年組織という実体を考えればそれにあつたらしい。一定の限界が必要である。

各種恩給の種類別最低金額は次の通りになる。

普通恩給	一、四〇〇圓
(伍長、二等兵費)	
増加恩給	一七、〇〇〇圓
(兵、六項症)	
傷病年金	一四、〇〇〇圓
(旧一款症)	
傷病賜金	八五、〇〇〇圓
(新一款症)	

共助会趣旨説明編成、分科会などがあり夕食に移つた例年やつてゐる他已紹介に少々時間をくわれたが、今年始めてとり入れた各分科会のレクリエーション大会は、のど自慢 珍芸、舞踊など続出し満場のかつさいをあげレク大会審査長の表を授け、百円の「お菓子の犬」授け、

送致します。

此の通知を受けた当事者が正当の事由なく出頭しない場合は処罰される事になつて居りますから必ず出頭しなければなりません。

▼相手方が出頭通知を受けた場合の心構へ

右通知を受けたと相手方

協を活用するために農協を理解し農協事業の推進に協力するからといつても、單なる農協の御用団体ではない。農協に対しては強力な實際的批判者として独立し会費制度を主とする自主的組織であることが好ましい。

(氏)
公務扶助料二六、七六五
二〇才以下の子には一名
八〇〇円父母一名に四、
〇〇円の扶養加給があり
尚現在傷病軍人に對ち
恩給診断を實施中であ
すが、先般本保健所所
立し高知病院の巡回檢
査を受ける方は、一日も
遅延なく恩給請求の申
込をなさねばならぬと
申す。また恩給請求の
手續を急ぐにつれて、

後十一時、男子共助生は、講堂の板の間にゴザをしきその上にゴロ寝、女子共助生は役場出張所に於て宿泊。第一日目の夢路に入った。明けて第二日目の二九日は午前六時起床、洗面清掃の後朝食の席につく。食事後は必ず一寸したレクリエーションをやり出して、やかな笑の渦をかもし出した。

分科会：松村佳泉氏の内地留學考察報告、嶺北連合青年引込会報告、嶺北連合青年

裁判を受けた気持で出頭し、時には冒頭申立人が裁判所所員に訴へるとは不都合千万である」と激迫する方があり、さすがに元来調停制度は初稿に申上げました通り裁判所に上る調停委員が第三者の立場から当事者双方より紛争の事情をさぐつばらんに而かも情宜を見て聴き、其上上の方の利害得失を考慮して納得の行く迄何回でも解決案を示し双方共完全に納得が

大杉農協専務 森 山 茂 喜

館長 秋山正隆

知の通りである。従つて、外には関所の設けもあつて種々の史実に富んでいる。かくの如く往時は交通の路に當つた爲この地方が、賑を極めていたことも想像される。然るに時代の変によつて今や交通不便のため寒村部落と化してしまつてある。

然るに当地方は本年初旬、因る電話通傳の脈断たれるが裝菜グループが埋没されて、今又県交通の開通によつて昔の往時は文化の下と化して一大変革を來してである。更に今後高知

昭和二十六年三月、金
町の空白状態が続いて
杉校下青年団では、幹部選
が色々挽回策を講じていた
が、効を奏せずいたらずに
時日の経過をみるばかりで
一部有志の顔をしかめさせ
ていた。

何度かの失敗にこりず現
村連青団長小笠原博三君、
小笠原良猪君、小笠原重夫
君等が発起人となり八月十
二日夜役員会を開催した結
果、丸三君ぶりで、やうや
うにして校下青年団役員の
決定をみて、発足された。

新役員

団長 小笠原良猪

とにしたい。

尚分科会は女子部員の問題、青年教育の問題、生活問題の三分科であり、この問題点を三分科では、発案科分会に要した時間は、発表会も含む五時間半で、短い時間を共助生達は活発に討議していた。(写真見分科会とその発表会)

第八回共助会の
本部反省会開く

第八回研究会共助会の本部役員十一名は秋山公民館

一、紫葉英種子入荷販売中
一升二二〇円
二、馬鈴薯種子予約受付中
三、秋肥及農機具の註文は
なるべく早く願います。



徒らに政治的活動に走ることは農協が政治的中立を堅持していると同じく農協青年組織も政治的中立を守るべきである政治活動は、あくまで農民の利益を代表して起つ強力な他の農民組織によって行われることが望ましい。

大王下青年团

笠原長猪君（二十二才元團
長）副團長に小笠原一猪君
（二十一才）を決定しそれ
で就任した
（写真は草刈）

第三目の受付は午前十一時より十一時まで行なわれたが、すでに六十名をオーバーする出足の好調をみせて十一時から地元村議員、教育委員その他有志を迎え開会式が始まつた。

▼調停申立に対する裁
判所の取扱

ることが実情に適しているかも知れないが、青年組織という実体を考えればそれにあつたらしい。一定の限界が必要である。

の趣旨となっている。

第三目の受付は午前十一時より十一時まで行なわれたが、すでに六十名をオーバーする出足の好調をみせて十一時から地元村議員、教育委員その他有志を迎え開会式が始まつた。

▼調停申立に対する裁
判所の取扱

ることが実情に適しているかも知れないが、青年組織という実体を考えればそれにあつたらしい。一定の限界が必要である。

より芝浦十二馬力ボ

団の実情交換、昼食、分科
会発表レクリエーション
反省会などを行い午後三時
三十分、別れの歌を合唱の
後、一泊二日間、楽しくに
ぎやかな、そしてより真剣
な研究会の幕を閉じ、新し

出来た場合、其結果を調停に作成双方に提示し之れに立会判事並に調停委員が署名し初めて調停成立と云ふ事になり、裁判所の判決同様の効力を発し、此場合何れの一方が如何しても納得

五、政治的には中立である。農協青年組織、本来の任務は農協を活用して各農家経営の合理化と近代化された村づくり運動を實踐していくことにあり、

団では団長、北村秀

討議していた。(写真は今科会とその発表会)

第八回共励会の
本部反省会開く

第八回研究会共励会の本部役員十一名は秋山公民館

大杉農協だより

一、紫雲英種子入荷販売中
一升 二〇〇円

二、馬鈴薯種子予約受付中

三、秋肥及農機具の注文は
なるべく早く願います。

大杉農協専務 森 山 茂 喜

大杉農協専務 森 山 茂 喜



英霊に捧げられた 匿名の美しい花輪 三年間連続の贈り主わかる



感謝してゐる
なほこれについて厚生係
松岡行雄氏は次の如く語つ
た

戦没者の慰霊祭は旧来、
村主催により盛大に執行さ
れて来たが終戦後、GHQの
指令により禁止せられ、
以後遺族会及民間団体とし
て本村では青年団の自発的
主催により毎年合同葬送に
慰霊祭がさかんに、とり
行なはれて来た。

この間、昭和二十六年以
来三年間慰霊祭毎に一復員
者と記した花輪が人知れず
霊前にかけられ関係者の目
を引いて来たが関係者間で
は一度ならず毎回匿名で捧
げられるこの花輪の主につ
いて内中中のある此程や
うやく本村日浦、上村正幸
氏(元陸軍軍医)なること
が判明した。

戦後の混乱と反軍思潮の
充満した世相にあつて時代
的に取残されつゝある護國
の人柱に對し影ながらの吊
慰もこの行為に村関係
者は勿論遺憾では殊の外

村内農業委員 会委員選挙行 なれる

会長に小笠原清浩
氏選任さる

農業委員会委員の選挙は
農業者等に関する法律

もて参謀長をしていた
当時彼は不遇で専ら書によ
つて鬱鬱を散らすの床に
横たへて居たが、これに
ついて思ひ出されるのは、
大將が昔々送つた手紙に
紙に大杉村を郷里にもつこ
とを誇として、大杉を讀へ
、自分も大杉の様な日本
一の人物になりたいとい
ふ書かれてありその頃から
大杉即ち巨杉を夢とされた
もので、大將が私に最
初これを聞いたのは、北支
那開發公社在勤当時の昭和
十四年夏大谷總裁に随同し
て渡支、一日少閑を得て北
京の北支軍司令部を訪ね
て昼食を共にしながら色
々郷里の話などした時だつ
たと思ひます(其頃山下大
將は中将で杉山軍司令官の
として独伊他を歴訪した

山下巨杉將軍を しのびて

高松にて T、C、生

第四師団長に転じた中で中支
戦線に出られましたが確か
は漢口到着前東条の陸相就任
に伴ひ其の後任として航空
總監兼航空本部長に任ぜら
れ歸京、其後軍事使節團長
として独伊他を歴訪した

大杉中学校に 土儀新設さる

大杉中学校では第三区(天
坪、大杉、西豊永、東豊永
村)の体育行事の一つとし
て角力競技の会場に指定
された土儀場の設備がな
く緊急に新設の必要にせま
られ同校、徳弘愛媛教員及
人等が奮起して土儀場を新
設し、八月二十日竣工し同
日に完成した。

土儀場新設完成につき杉村
中学校校長は次の様に要望し
てゐる。

「角力は国技として日本
特有のスポーツとして発達
し青年期の心身の鍛錬には
最善であり健全なる精神
を養成するに資するもの
である。健全な身体を
つくる事である。生徒のみ
ならず一般青年の方々は、
この土儀を大いに利用して
頂きたい。なお土儀新設に
当たり各部部長長さん、PT
の方々の、献身的な御勤
力に對し深く感謝の意を表
します」

村内畜産振興会開催

肉畜委託販賣取扱要綱きまる

八月五日中央公民館に於て
県経済連畜産課本技師を
迎へ村内畜産振興会を地域
代表者二十数名が会合し記
事を協議合意せしめた。

従来畜産の肥育出荷と云う
事には余り無関心であり非
常に損失を蒙つて来たが、
農村に於てはデフレは益々
深刻化しつゝある現在、農
村の副業として肉畜出荷は
最も重要な部門として村
には畜産家に呼び掛け、賛
同協力をする事。肉畜肥育
法は単飼育とし最大参
月位迄とす事。肥育に
要する自家飼料以外金受領
が特許し肉畜販賣代金受領
迄融資を受ける事が出来得
る。

肥育は凡て大杉村農業協同
組合を通じて県経済連畜産課
の斡旋により行ふ。当日会
合の代表者により地域毎に
成牛調査肥育出荷希望者を
とす。

一、本組合は前項申込によ
り出荷計画を作成、肥育
状況調査出荷日時場所等
を調査する。指示した指圖書
を發行する。

二、委託人は第四項指圖書
を受けたときは所定の
日時までに肉畜を提出する
とす。

三、本組合は委託人の希望
により別に定める細則に
より評価額の七割以内の
前渡金を交付することが
ある。

四、委託を受けた肉畜は本
組合に於て県経済連畜産課
に於て出荷販売する責任
を負ふ。

五、販売方法は肉畜取引
により立入札入札販売等
の市況により最も有利
と思はれる方法により売
却する。

六、運賃諸掛等出荷に要
する経費は凡て出荷者の
負担とする。

七、代金の決済は現物が市
場に到着後十日以内とす
る。

八、天災地変其他不可抗力
力による損害については
本組合はその責を負はな
い。

立川小中学校の 感謝発表会

既報の杉本氏の学校修業
に對する感謝発表会が去
る七月二十三日立川校に於
て開催された。当日は喜ぶ
兄弟等参集する者約二百
十時間可憐な舞踊に面白
い音楽、果は二十の原も
び出す有様で最も盛況に午
後一時閉会された。

当日好評を博したものは小
二合唱「かつこ」「火遊び
」中一、二十の原、中三、
英語劇、浦島太郎等であつ
た。

バス開通式

待望のバス開通が去る八月
一日実現された。前日には
全線所々に歓迎の緑門や紅
白の門が作られ翌日始發
のバスも到着して翌日の姿
勢を取つてゐた。八月一日
長い雨も祝賀のためカラ
リと晴れた六時四十分、歡
呼の聲に送られ勢よく滑り
出した。十一時、会場鈴木氏
宅には杉山校長、その仙議
員、秋山公民館長、都築県
議員、杉山警察署長、同
所長、杉山郵便局長、新聞社
関係の方々を主賓に地元の
志約百名が参列式が挙げ
られた。村長の挨拶、来賓
の祝詞、地元民代表の感謝
の祝詞、知事其の他祝電放
送があり、式後盛大な祝賀
宴等あり盛況の中に午後四
時散会した。



写真は開通当日のバス

料理講習会 二校下で開催

八月七日大杉小学校放
場、八月十六日川口公民
館で大杉村日赤奉仕団、農
協婦人部、公民館共催の下
に坪坪村の石川氏を講師と
して血料理講習会を開催
した。

出席者はいずれも二十名
を越え、講師の熱心な指導
を蒙り十数種の料理と整つ
た調味、作り方、並べ方等
在来の方法に比して大變に
得る処が多く、殊に農村に
産する材料を主とした血料
理は實際的であると好評
を博した。

終了後急遽撮影をなし試
食会を開き賞味談笑の内に
閉会した。

感心な生徒さん達
川口部落の夜警を
続行中

中央公民館に 電話五十五番新設

本村役場では現在の電話一
番のみでは不便があり去
る八月十日新たに「杉局五
十五番」の電話を設置した
この電話の機械を増設し
公民館事務室(県林務駐
在員、大杉林務所、保健所
大杉駐在保健婦と同居に
新設したので公民館と前記
同居者に用件は向は杉五
十五番電話に掛けること
と云つてゐる。

本月の衛生計画

本山保健所では本村で行な
う九月の事業計画を次の通
り発表した。

△十三日、立川乳児検診
△十五日、川口乳児検診
△十八日、川口母子衛生
△廿八日、立川母子衛生
△廿九日、立川BCG
△廿九日、立川BCG

優良部落中村大王
を幻燈用スライド
に収む

巨杉短信

川口小学校の複式
授業參觀に続々來校
本村川口小学校の複式授業

巨杉短信

川口小学校の複式
授業參觀に続々來校
本村川口小学校の複式授業

